

# 週刊粧業

## 特集

## フレグランス

大同

### 海外のニッチフレグランスを多数提案 イタリアブランド「パリエーリ」を導入

大同は、バス&トイレタリーの専門商社としてくつろぎの空間を彩るニッチフレグランスを提案し、東京と大阪で直営店も営む。

11月3日にはイタリアのフレグランスコレクション「パリエーリ」(写



真)を導入し、フレグランスブランドを拡充させた。アラッサンドリアのパフューマリーを起源とし、1876年にパリエーリアファミリーがグループ企業として事業化、その140年後の2016年に誕生したコレクションだ。「イタリアを香りで巡る旅物語」をコンセプトとし、その香りはイタリア文化と歴史からインスパイアされたボトルとパッケージとともに、旅の思い出を呼び起す。

ルームディフューザーで定評のある「アンティカファアルマシスタ」では、

2017年冬季限定の香り「シルバーシダー」を11月23日に発売する。「このブランドは秋冬と春夏に限定品を発売し、人気が出たものを定番化する。日本人好みのフローラルがベースになっているので、どの香りも平均的に売れる」(横山千春営業企画3部マーケティング課広報・PR担当マネージャー)

SALON DE PARFUM「アトリエコレクション」を出展し、

調香師アンジェラ・チャパーニャ氏らによるセミナーも開催して好評を博した。

キャップのデザインにこだわったディフューザーが人気の「ロッケルベル」(伊)には先月、「クリント1817」が加わり、好スタートを切った。

「今後も香り製品を主軸とする老舗のニッチフレグランスを世界からセレクトして紹介していきたい」(横山氏)